福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　日時

令和８年１０月２３日（金）

２　確認箇所

・定検用機材倉庫Ｂ（図１）
・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（図１）

３　確認項目

（１）使用済み横置き型タンク解体作業の状況
（２）使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況

４　確認結果の概要

（１）使用済み横置き型タンク解体作業の状況

東京電力では、高濃度の放射性物質を含む建屋内滞留水の処理水を貯蔵するため、当初、横置き型タンク（以下「ブルータンク」という。）を使用していた。その後、より多くの処理水を貯蔵できる縦置き型（溶接）タンクへの置き換えが進められ、使用を終えたブルータンク（全３６７基）は、現在、水を抜いた状態で発電所構内の４か所において一時保管されている。

ブルータンクは、令和６年１１月から未使用のものを優先して解体作業が開始されたが、令和７年２月に解体作業中に発生した火災により一時中断された。その後、東京電力は、設備改修等の再発防止対策を行い、令和８年１月からブルータンクの解体作業を再開し、８月４日からは使用済みブルータンクの解体作業に移行している。

今回、定検用機材倉庫Ｂにおいて行われている使用済みブルータンクの解体作業の状況を確認した。（前回確認：令和８年８月２０日）

・使用済みブルータンクの解体作業（切断、反転・運搬、レーザー照射、冷凍、ＦＲＰ（繊維強化プラスチック）剥離、汚染検査）に用いる設備の状況を確認した。（写真１）
・現場確認時は、剥離したＦＲＰを放射性廃棄物として搬出するためにコンテナに収容する作業が行われていた。（写真２）
・確認した範囲では、解体したタンク片の飛散などの作業安全上の異常等は認められず、放射性ダストの監視等を行いながら、着実に解体作業が進められていた。（写真３）

（２）使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況

東京電力では、各原子炉建屋の使用済燃料プールで保管している使用済燃料について、共用プールへの移送を進めている。また、共用プールの保管容量を確保するため、十分に冷却した使用済燃料を乾式キャスクに装填し、

構内の使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「仮保管設備」という。）に移送する計画である。

現在の仮保管設備は使用済燃料の保管容量の上限（乾式キャスク６５基分）に達していることから、東京電力は令和５年２月から保管容量を３０基分増やすための増設工事を進めており、令和９年度の完成を予定している。

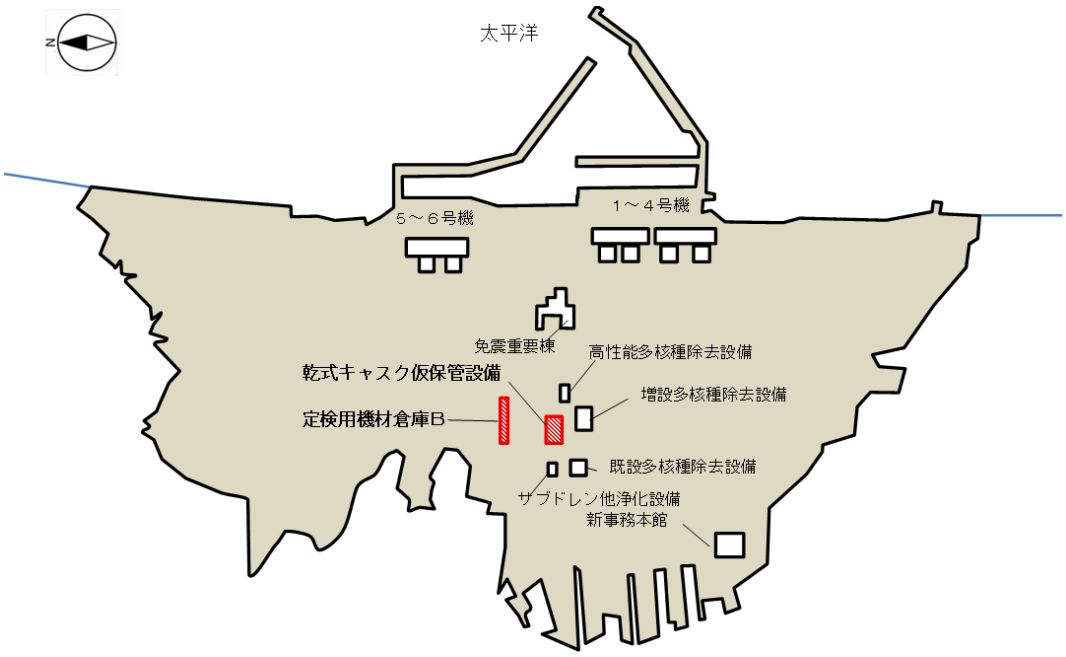
仮保管設備の増設区画は１基当たり使用済燃料を６９体収納できる大型の輸送貯蔵兼用キャスク（以下「兼用キャスク」という。）が採用されている。

なお、仮保管設備の増設区画は、使用できる状態となった区画から順次運用を開始する計画であり、東京電力は令和８年１０月頃からの運用開始を見込んでいる。

今回は、仮保管設備の増設工事の進捗状況等を確認した。（前回確認：令和８年８月２７日）

・作業エリア西側の増設箇所で、兼用キャスクを設置するための支持架台及びコンクリートモジュール※の設置工事が前回確認時から進んでおり、兼用キャスク搬入前に必要となる作業は概ね完了していた。
・作業エリア東側の増設箇所では、支持架台などを設置するための基礎工事が進捗していた。また、北側の一部ではコンクリートモジュールの外壁の組立作業が進められていた。（写真４）
・確認した範囲では、既設エリア及び増設エリアのコンクリート基礎、兼用キャスクの支持架台及びコンクリートモジュールにひび割れ等の異常は認められなかった。

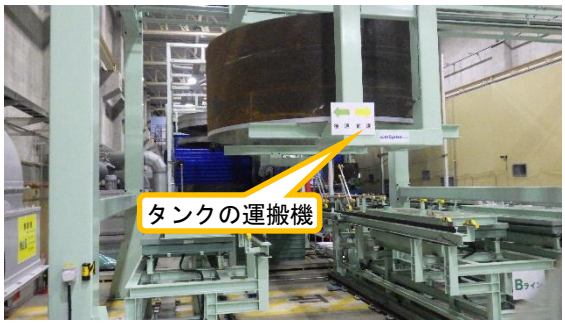
※核燃料を収納した乾式キャスクを１基ずつ覆い、外部への放射線遮へいなど外部衝撃からの保護などを行うコンクリート製の構造物のこと



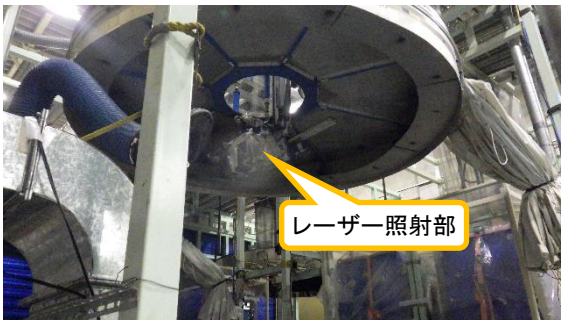
（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況①（切断用カッター）



（写真１－２）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況②（切断したタンクの運搬機）



（写真１－３）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況③（ＦＲＰに切り込みを入れるために用いるレーザー照射機）



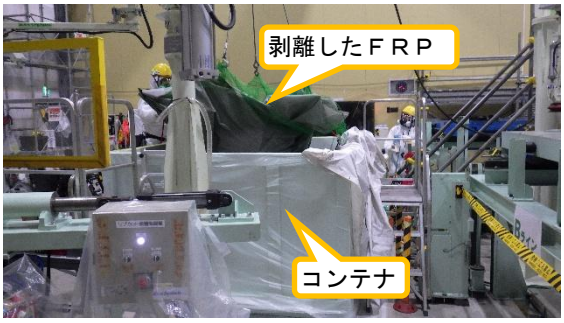
（写真１－４）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況④（ＦＲＰ加熱用のレーザー照射機）



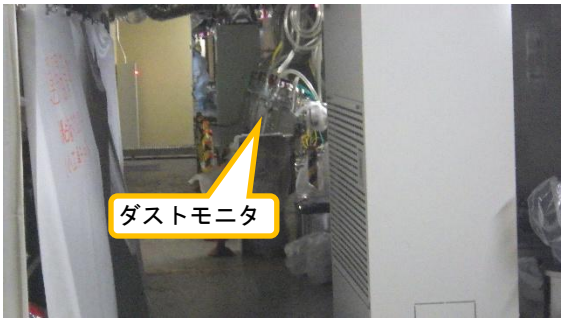
（写真１－５）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況⑤（冷凍機）



（写真１－６）ブルータンク解体作業に用いる設備の状況⑥（ＦＲＰを剥離するための設備）



（写真２）剥離したＦＲＰをコンテナに収納する作業の状況



（写真３）ダストモニタによる放射性ダストの監視の状況



（写真４－１）仮保管設備の状況①（作業エリア東側における作業の進捗状況）



（写真４―２）仮保管設備の状況②（作業エリア東側における作業の進捗状況）

５　プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。